泰らぎ

Vol.46
2017年
秋号

デイケア陶芸作品

P1　表紙・目次
P2　【理事長挨拶】
　～9月15日開院記念日によせて～
　【勉強会のご紹介】
　SOAP勉強会（精神科療養病棟）
P3　【活動のご紹介】
　・歩こう会 in 畑ダム
　（急性期治療病棟）
　・お料理教室（認知症治療病棟）
　・夏野菜収穫＆食事会（デイケア）
P4　平成29年度筑豊地区　福岡県認知症医療センター　3センター合同専門職向け研修会のご報告

温故会

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC1555 号

温故会
直方中村病院
福岡県認知症医療センター
http://www.onkokai.jp/nakamura/
編集・発行　直方中村病院広報委員会

理事長挨拶

～9月15日開院記念日によせて～

台風 18 号は直方市の東側を通り、幾分風の影響が少なくて済みました。今回の台風と、朝倉、熊本で水害に遭われた方々、未だに避難生活を送らざるを得ない方々に、心よりお見舞い申し上げます。

先代　中村泰山は、長崎街道の宿場町である嘉穂郡筑穂町（現 飯塚市）内野に育ち、そこで祖父の診療所を継いでいました。山付の地形でしたので米は美味しく、静かな村でありました。昭和 31 年に現在の、直方市頓野に開業しました。どうしてこの地に父が病院を建てたかと申しますと、雄大な福智山から上がる朝日と、六ヶ岳を赤く染める夕日が美しかったからだそうです。子供の頃からずっと見ることが出来なかった風景の美しさに、この地を選んだと申していました。また、直方中村病院が建つ四十塚という地区は、北側に尺岳川、南側に近津川に挟まれた丘陵地にあります。災害のない福知山山系に囲まれた風光明媚な頓野の地に立ち 61 年大事なく過ごさせて頂いたことに、改めて感謝しています。

勉強会のご紹介

SOAP勉強会（精神科療養病棟）

今年度の、精神科療養病棟（2 病棟）の年間目標は「チームワーク」です！

看護師もケアスタッフも一丸となって、患者様のケアを行う事を目標としています。その為には、カルテの書き方を病棟スタッフ全員が同じように出来なければなりません。

そこで、2 病棟のチームワークづくりのテーマに、「記録は SOAP」を上げ、看護師が中心となってスタッフへの勉強会を開催しました！

SOAP とは

POS(Problem-Oriented System) という考え方（患者様の視点に立って問題を解決する）があり、それを実施するために経過記録を4つの項目に分けて書くことにしています。これを SOAP と呼びます。

S: 主観的情報　O: 客観的データ　A: 評価　P: 計画と、各項目に分けて記載していきます。

SOAP を病棟スタッフ全員が、理解し実践することで、患者様の状態を正しく共有することができ、多職種で統一した看護・介護を提供できると考えます！

また、資料を見るだけでなく、プチテストも行いました。スタッフ同士で、細かいアドバイスなども行いました。今後も、このような勉強会を開催し、患者様の為に！スタッフのスキルアップ、連携強化に努めていきます！

活動のご紹介

歩こう会 in 畑ダム（急性期治療病棟）

歩こう会（ARP: アルコールリハビリプログラム）

晴天の中「歩こう会」メンバーとスタッフ七名で畑のダムへ行きました。
片道8㎞+ダム周り6.4㎞の距離をみんなで楽しくけがもなく歩きました。
お昼は駐車場横の東屋内のベンチに座りお弁当を食べました。
その後は周囲を散策し川魚の鮎や山魚をながめて季節感を味わうことができました。
散歩や運動で来られていた他の方とも気持ちよく挨拶をかわされ入院生活中の良い気分転換にもなったようです。

お料理教室（認知症治療病棟）

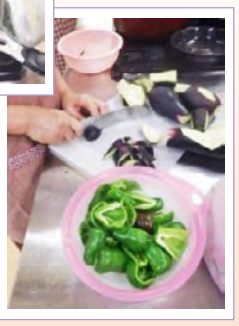
3病棟恒例の料理教室のご紹介です。
『柏餅もどき』と『アンコのきな粉餅』と『コールスローサラダ』をメンバー5人で作りました。
何で柏餅もどき??と言いますと柏餅に必要な皮が準備出来ず代わりにバランを葉っぱ風に使用したので“もどき”になりました。
ですが、お味の方は絶品ですよ。見た目はイマイチかもしれませんが皆さんの努力にはかないませんよ。
他にも、『そうめん』と『フルーツポンチ』をメンバー3人で作りました。
どうですか？美味しそうでしょ??皆様も参加しませんか？

夏野菜収穫＆食事会（デイケア）

今年は畑の畝を増やして**ナス**、**ピーマン**、**キュウリ**、**ミニトマト**、**枝豆**、**青じそ**にチャレンジです
メンバーさんが暑い中毎日のように畑に行き、水まきや草抜きをし、愛情たっぷりに手をかけた野菜さんたち、今年も元気に立派に育ってくれました。

どうやって食べるかみんなで話し合った結果・・・
夏野菜の天ぷら と **そーめん**に決定！！いざ調理！
みんなで手分けしながら時間がギリギリでバタバタになってしまいました。
採れたて新鮮・愛情たっぷり いつもながら、みんなで育てた野菜は日本一美味しいです。
そして、実はまだ畑にはサツマイモが・・・♪
次はサツマイモでの食事会、楽しみです。

どうにかこうにか完成です!!



平成29年度筑豊地区　福岡県認知症医療センター 3センター合同専門職向け研修会のご報告

当院は、平成26年12月1日付けで福岡県から福岡県認知症医療センター（以下、センターと表記）の指定を受けました。筑豊地区は直方鞍手圏域を当院、飯塚圏域を飯塚記念病院、田川圏域を見立病院と担当しております。

また、センターの役割の一つに「地域のおける認知症の診療、介護に携わる人の人材育成」があります。これまで一センターが一圏域の専門職を対象に研修会を開催しておりました。今年度は、筑豊地区の三センターが合同で開催することにより各圏域での取り組みを相互理解し、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を一層図ることを目的に開催することと致しました。

「認知症の予防から看取りまで～安心して暮らせるまちづくり～」

― プログラム ―

講演「ご存じですか～認知症の新たな取り組み」

○司会：医療法人社団 温故会 直方中村病院　事務課長　安部武俊　氏

○演題①「若年性認知症支援ハンドブックについて」

講師：福岡県保健医療介護部 高齢者地域包括ケア推進課　在宅介護予防係 係長　庄嶋 智　先生

○演題②「地域での普及活動」

講師：医療法人 唱和会 見立病院　精神保健福祉士　柴田 亜希　先生

○演題③「直方鞍手地区の認知症初期集中支援チームについて」

講師：医療法人社団 温故会 直方中村病院　精神保健福祉士　葉室 智隆　先生

特別講演

○座長：医療法人社団 豊永会 飯塚記念病院　精神保健福祉士　江頭 関巳　氏

○演題「認知症高齢者の看取りについて」

講師：久留米大学病院　高次脳疾患研究所　准教授　小路 純央　先生

事前参加申込187名でしたが、当日欠席・出席を含め参加者は181名でした。

演題①では、若年性認知症の全般的な現状と課題の話があり、福岡県の取り組みの一つである若年性認知症の人やその家族との意見交流会の開催の報告、また、若年性認知症支援ハンドブックについての説明がありました。演題②では、地域での普及活動としての認知症出前講座、もの忘れ予防教室等の報告がありました。その取り組みを通じ、認知症についての知りたい内容（ニーズ）が変化しているということでした。演題③では、直方鞍手地区の認知症初期集中支援チーム（2市2町と当センターのチーム員で構成）の概要と実績及び事例報告がありました。

特別講演では、「老化とは」から始まり「認知症の人のケアの視点」、そして「看取り」の話まで幅広くありました。最後は、「認知症高齢者の終末期の意志決定とは？」と（私たち専門職は大切にしないといけない事柄ですが）難題を提示されと感じた参加者の方は多かったのではないでしょうか。

アンケートは、140名の方から回答がございました。所属機関は、医療機関・居宅介護支援事業所・地域包括支援センターの順に多く、訪問介護事業所・通所サービス事業所と少数ですが、幅広く回答をいただいております。また、職種においては介護支援専門員・看護師の順に多く、歯科衛生士・臨床心理士と少数ですが、こちらも幅広く回答をいただいております。講演や特別講演についての感想・意見は自由記述式での回答でした。大半の方が「参考になった」「業務に活かしていきたい」と記入されておりました。今後も専門職の方々に、より良い研修の機会を提供できたら、とアンケートの集計をしながら感じました。

今回、多くの方が参加していただきまして、感謝申し上げます。また、昨年度から見立病院・飯塚記念病院の両センターの事務局とは協議を重ね無事に終えることができましたことを感謝申し上げます。

（精神保健福祉士　葉室）